

一般質問

2月26日、29日の本会議で、18人の議員が市政全般について一般質問を行いました。要旨は次のとおりです。

子育てと介護の「ダブルケア」新たな課題に積極的な支援を



日本共産党 西尾 勝彦 議員

議員 これまで子育てと介護は別々に捉えられ、それぞれ個別の施策により対応してきたが、高齢化の影響などで晩婚化、晩産化が進み、子育てと同時に親や家族の介護を担う「ダブルケア」が社会的な課題として顕在化してきた。今後のダブルケア問題への対応と支援について所見を聞く。

市長 地域福祉の課題が多く顕在化する三鷹市としては、こうした課題に丁寧に対応していきたい。そのためにも子育て、介護のいずれも支援できる専門家の育成が必要であり、国の女性活躍のための環境整備の取り組みなど、より一層の支援の拡充に期待している。

労働者の生活賃金を保障する公契約条例の制定を求める



日本共産党 栗原 健治 議員

議員 アベノミクスで格差と貧困が拡大し、本市の公共工事や公共サービスの労働現場でも、ワーキングプアの出現が懸念される。実態調査が必要ではないか。

第一副市長 市民からそうした声は全く聞かない。公

共事業の予定価格は、適切な労務単価の積算に基づき設定している。従って実態調査の実施予定はない。

議員 公契約条例を制定することによって、公共事業における適正な賃金や労働環境・条件を確保できるとともに、業務の質の確保と市民サービス向上につながる。所見を伺う。

総務部長 労働環境の整備は国が対応すべきことだ。業務の質の確保は、契約の確実な履行を監督し、成績不良の事業者は入札停止とするなどで努めている。

議員 現場で本当に適切な労務単価が支払われているのか疑問だ。市内の建設事業者からも公契約条例の制定を求める声が上がっていることをどう考えるか。

第一副市長 逆に、条例制定は極力見送ってほしいという意見を多く聞く。条例制定に伴う事務の煩雑化等の理由からと考えている。

市民の命を守る視点で調布保谷線の安全対策を



日本共産党 森 徹 議員

議員 調布保谷線と堀合通りとの交差点の安全対策については、これまでも議会できり上げてきたが、交差点北側への横断歩道や信号機の設置等の安全対策が進んでいない状況だ。この3年間の市と都の協議経過及び都の対応について聞く。

市長 近接する横断歩道交差点に横断歩道と信号機を設置するため、堀合通り交差点北側への設置は困難だと交通管理者である警視庁が判断している。今後も市民の意見を聞きながら粘り強く都に要望していきたい。

制定を求める声が上がっていることをどう考えるか。

議員 経費削減のために民間委託が進む公共サービスの労働者賃金が生活保護水準だという話も聞く。賃金の下限設定を保障する公契約条例を制定する予定について、市長の所見を伺う。

市長 市の入札では競争だけでなく、地域産業振興の視点も重視している。同条例については先行自治体を調査した限り効果を実感できず、条例がなくても適切に取り組んでいく考えだ。

都市整備部長 地域住民の意見を取り入れて整備方法を決めた経過があり、要望は困難だと考えている。

市民満足度の更なる向上で誰もが住み続けたいまちへ



自由民主クラブ 伊東 光則 議員

議員 本市がこれからも住み続けたいまちであるためには、市職員が更なる市民満足度向上に向けた意識を共有し、様々な市民に対する確に対応できる能力を高めることが必要と考える。

市長 市民の提案や苦情等は、市長まで決裁を行った上で、住所・氏名がはっきりしている場合は文書で回答し、匿名で出されたものも必ず対応を共有している。

議員 市民の声の反映についてはどのように対応しているのか。取り組みを聞く。

市長 頻繁に寄せられるものはFAQに加えるなどの対応をとるとともに、要望や苦情がくる原因を調査し必要な条例、規則、要綱の改正等にも取り組んでいる。

議員 平成27年3月の市民満足度・意向調査の報告書では約2割の市民が市政に満足できない部分があると回答している。所見を聞く。

市長 不満に思う内容は多様だが、行政サービスの向上に生かしていきたい。

子どもたちの健やかな成長へよりよい食環境づくりを



自由民主クラブ 土屋 健一 議員

議員 近年、子どもたちの食、いつも同じものを食べる「固食」、食事を抜いたり量が少ない「小食」など、様々な「こしょく」が問題

視されている。心身の発達への影響について聞く。

教育長 食生活の乱れが、肥満や思春期の痩身傾向、偏食を招き、孤食によって、食事の楽しさを失う等、健全な心身の発達に悪影響を及ぼすと認識している。

議員 夕食による家族団らん時間が失われると、親から食事のマナーを学べず、偏食が増え、いずれそれが子どもにも連鎖する可能性がある。学校給食における食事のマナーの指導状況について伺う。

教育部長 学級担任が主となり、給食を通して日々繰り返し指導を行っている。

議員 三鷹の子どもたちのよりよい食環境へ向けた今後の取り組みを伺う。

市長 食環境の充実に向けて、引き続き、三鷹地域活動栄養士会などの関係機関と密接に連携し、食育の普及啓発をはじめとする取り組みを進めていきたい。

働き方の改革を進め女性が活躍する社会の実現を



自由民主クラブ 小俣 美恵子 議員



三鷹地域活動栄養士会の協力による親子料理教室

議員 女性の職業生活における活躍の推進に関する法律（女性活躍推進法）の成立により、国、地方公共団体、従業員30人以上の民間企業には、女性活躍推進のための行動計画の策定、届け出、従業員への周知、公表が義務付けられた。本市の女性活躍推進計画（仮称）及び特定事業主行動計画策定の進捗状況を伺う。

市長 女性活躍推進計画に

ついては、国の基本方針及び今後策定される都の計画の内容なども踏まえ、今後、具体的な検討を行う予定だ。特定事業主行動計画については、現在、状況把握と課題分析を踏まえ、計画の策定を進めている。

議員 女性活躍推進法は、事業主の雇用管理に大きな変革をもたらすものだ。労働力人口の減少が進行する中で、女性活躍推進のため